

「第282回判例・事例研究会」

テーマ「スクイーズ・アウト（SQ）の手法（概観）」

日 時	平成30年12月12日
場 所	湊総合法律事務所 第1会議室
報 告 者	弁護士 野村 奈津子

【事例】

事 案	<ul style="list-style-type: none">・ Xは同族・閉鎖会社。代表取締役の株式シェアは2/3超だが、疎遠あるいは敵対的な少数株主が10名ほど存在。・ 少数株主の個別の同意を得ることなく、少数株主を会社から排除したい。
手 法 (現金株式交換、現金合併を除く)	<ol style="list-style-type: none">(1) 1 特別支配株主の株式等売渡請求（会社法179） 対象会社の総株主の議決権の90%以上を有する特別支配株主が、対象会社の他の株主（当該対象会社を除く）の全員に対して、その有する当該対象会社の株式等の全部を当該特別支配株主に売り渡すことを請求できる制度。(2) 株式併合（会社法180①）(3) 全部取得条項付種類株式（会社法108①七）